

中 部 N O W

〈発 行〉

(公財)オイスカ中部日本研修センター 〒470-0328 豊田市勤八町勤八 27-56

TEL 0565-42-1101 FAX 0565-42-1103 E-mail: chubufc@oisca.org HP: <http://oisca.org/>

あけまして
おめでと〜うございます



オイスカ中部日本後援会
会長 勝野 哲

新年をご健勝にてお迎えになりましたこと、心よりお慶び申し上げます。

近年、世界的な資源価格の高騰や円安の影響による物価上昇が続く中、持続可能な社会基盤と生活環境の確保が喫緊の課題となっております。また、労働力不足を背景に、外国人材の受け入れや多文化共生の推進が一層重要性を増しております。

オイスカ中部日本研修センターでは、現在7か国約100名の海外研修生・技能実習生を受け入れ、各国の将来を担う人材育成に取り組んでおります。さらに「農業ボランティアデー」をはじめとしたオイスカ研修生と地域の方々との国際交流活動を通じ、相互尊重の意識の醸成ひいては多文化共生の実現に貢献しております。また、オイスカ本部では、世界各国で「子どもの森」計画やマングローブ植林をはじめとする「環境事業」「地域開発事業」を推進し、オイスカが目指す持続可能な社会の実現に向けて着実に歩みを進めております。

オイスカ中部日本後援会といたしましても、オイスカの多様な取り組みを財政面から支援することで、オイスカの活動が末永く続き、さらに広がっていくよう尽力してまいります。つきましては、会員数拡大に向けた新たな取り組みにも挑戦していきたいと考えている所存です。

本年も、会員の皆さまには変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



公益財団法人 オイスカ
愛知県支部
会長 光岡 保之

日本一のオイスカデーを目指して

新年、あけましておめでとうございます。迎えました令和8年が皆様にとってもオイスカにとっても輝かしい年になることを心からご祈念申し上げます。

私は、毎年新年にあたつて愛知県支部の今年度の基本方針を述べさせていただいています。

本年度は、毎年実施しているオイスカデーについて抜本的に改革をして日本一のオイスカデーを目指してまいります。それには、オイスカデーは何のために開催するのか、これまでもどういう形で実施してきたのか、これからのオイスカデーはどうあるべきかを愛知県支部幹事会において徹底議論をしてオイスカ愛知県支部としての総意で新しいオイスカデーを実施してまいります。

物事を決めるには基本は易不易で臨むべきと考えますので不易として基本的なコンセプトをどう構築してゆくのか、それを前提として本年度の具体策をどう立ち上げてゆくのか、そして、その具体策をどう実行していくべきか。

目指すところは、日本一のオイスカデーで高い目標ですが、階段は一步ずつ、一段ずつ歩むべきと考えますので会員の皆様のご理解ご協力をよろしくお願い致します。

又、昨年来の取組である豊橋に新しい推進協議会立ち上げの件につきましても、引き続き前向きに努力してまいります。私はオイスカの会員拡大が、喫緊の課題であると痛切に感じていますので愛知県内にオイスカの根を張ることの一環として、豊橋にオイスカの拠点としての推進協議会の立ち上げに鋭意取り組んでまいります。



公益財団法人オイスカ
中部日本研修センター
所長 小杉裕一郎

会員・支援者の皆様、新年あけましておめでとうございます。旧年中は中部日本研修センターへの御支援と御協力を賜り、誠にありがとうございました。

昨年は、海外研修生は農業コース5名(インド・インドネシア・スリランカ・パプアニューギニア・フィリピン)、家政コース2名(フィリピン)を受け入れることができました。令和8年度は農業コース4名、家政コース1名が入国いたします。今年は、先輩・後輩研修生とともに切磋琢磨し、技術と人間力の向上を目指して研鑽してまいります。

「農業を通じて公に尽くす人材を育成する」方針のもと、彼らを受け入れ研修していくことはオイスカの人材育成の柱の事業であり、会員様お一人一人の支援が研修生の育成に直結しております。会員様の御支援のおかげで、研修生の育成を進められております。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

技能実習につきましては、令和9年4月より「育成就労制度」が施行されることとなり、目的と運用方法が大きく変更されることとなりました。オイスカとしては、制度は変わりますが、目的は、国際協力・人材育成の一環として制度運用に取り組み、体制を整えてまいります。

啓発活動につきましては、光岡保之支部会長を先頭に活発な会員入会活動を展開いただき23件(12月現在)の入会をいただきました。10か年計画において愛知県支部は会員数1000件を目標にしております。会員の皆様には是非入会のお声がけをいただきましたら幸甚です。

本年も会員様と共に、オイスカ運動の推進・研修の充実と発展を期し、職員一同粉砕努力してまいります。

会員の皆様のご多幸とご健勝を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

オイスカ全国フォーラム



令和7年12月4日(木)14時から東京のビジョンセンター品川で本部主催の全国フォーラムが開催されました。オイスカに求められる役割や今後の目指す姿について講演や活動報告を通じて確認し合う目的で、中野理事長の開会挨拶に始まり第一部は「21世紀・オイスカへの期待」の演題でジャーナリスト・元NHKエグゼクティブ・デレクターの榎原美樹氏が講演、第二部は「海外プロジェクトの成果と課題及び支部との連携」と題しての報告がありました。

河合 秀

樋泉克夫理事 講演会を実施



12月10日、中部センターにて樋泉克夫先生による「日本人は中国をどう見ていたか」というテーマでお話をいただきました。ちょうど高市総理の発言で日中関係が難しくなっている昨今でありとても興味深く、30名を越す参加者で行われました。

先生によると、日本人は論語に学べとよく言われるが、中国人は論語を学んでいるかという点それは早合点である。中国人は、論語と反対のことをしているのではないかと、そう考えるとつじつまが合うと教えていただきました。

中国人は、弁解と屁理屈は得意であって政治的言語としても絶対的に強いものがある、そして、大袈裟な表現が多used大言壮語は日常的であるとのこと。また、瑞々しく細やかな感情を表現することは苦手であり、自己中心的、自己省察には不向きである。中国人は、とにかく交渉が上手い。最近の台湾問題に対する発言でも、アジア局長の手をポケットに入れた写真を撮らせた、大阪総領事の高市総理の首を斬るとSNSで発信したりと話題になったが、それは日本人を馬鹿にしたり日本人に向けたものではなく、中国に向けたものである。中国人やもつと言えは習近平に向けてアピールしているのではないかと推測されることとでした。

中国では、習近平に向けてアピールすることが出世につながるため、何よりも大事であると考えられる。そんな中で私たちは世界とどう振る舞うといいのか、政治ができるなければ私たちは、民間の団体として目先の見返りではなく、20年先、30年先を考えて日本人に好意を持ってもらおうようにすることが重要である。と締めくくられオイスカの活動も次の世代につながっていくような活動をしなさいといけなしいと思えました。



豊田推進協議会幹事長 水野宏幸

オイスカ豊田推進協議会

海岸林再生支援プロジェクト

さらなる黒松の成長を祈って

11月10日(月)～11日(火)の2日間、グリーングラスロッツとの共催にて宮城県名取市の海岸林再生ボランティアツアー(参加者17名)を実施しました。

私たちは、植樹したばかりの30cm程度の苗から見てきましたが、今や8mを超える成長ぶりに目を見張ると共に多くの方々の管理のご労苦を実感します。私たちの今回の使命は、松の枝打ちと切った枝の運び出しでした。腰程度までの枝を切り管理のためのルートを確認するのです。枝打ちを行わねばならぬほどの松の成長ぶりに感無量です。

2日目は、東日本大震災で大きな被害を受けた石巻市の震災遺構や復興の様子を見ながら震災語り部さんのお話を聴き防災の重要性を学ぶことができました。

オイスカ豊田推進協議会

会長 梅村 清春



オイスカ友の会

「愛と絆」の集いを開催

令和7年12月7日末野原交流館において、オイスカ友の会50周年記念講演会、「愛と絆」の集いを開催しました。当日は、大門正幸氏、富樫智氏をお迎えし「人と地球に『愛』惜しみなく」をテーマに、命の尊さや生きる意味、未来へつなぐ責任について深く考える貴重な講演会となりました。

おかげさまで、130名もの多くの地域の方々にご参加いただき、会場は学びと感動に包まれた、暖かな時間となりました。

ご来場くださった御来賓の皆様、そして長年にわたり活動を支えてくださっている地域の皆様に、心より感謝申し上げます。

オイスカ友の会

会長 高濱 耀圭美



11・12月 研修生の活動 レニ



年末に出荷予定の小松菜の管理



白ネギを収穫



豊田東高校の学生と玉ねぎの植付け



9月に植えたジャガ芋1.5トン収穫！



四国・広島研修旅行を実施

11月25日、28日に研修旅行を実施しました。四国研修センターと毎年合同で実施している研修旅行です。広島県支部様が、広島研修の全日程を調整および同行もいただき大変お世話になりました。平和資料館の見学、平和公園をボランティアガイドの橘さんの御案内で歩くことができました。晩には支部役員の皆様と懇親会をしていただき、研修の発表をしました。宮島にある厳島神社などを巡りました。

小杉 裕一郎



更新会員名簿(617/779)

安城(69/90) 神谷和明、近藤正俊、神谷光明、平岩伸松、深津修、安城印刷株式会社、太田勝岡崎(19/26) 伊藤治男、稲垣建設有限公司
奥三河(3/4) 峰野修
尾張一宮(1/3) 一宮商工会議所
蒲郡(7/8) 蒲郡市役所、有限会社香ノ木商事
刈谷(27/35) 伊藤直樹、刈谷スプレー工業 有限会社、株式会社 勤労食、太田宗一郎
豊田(160/203) 株式会社 豊田スタジアム、佐藤勝代、株式会社 ルー、今井英夫、神谷典之、菅沼一成、株式会社 村瀬鉄工所、加藤勝代
名古屋(45/56) 西野拓史郎、有限会社 タイヨーペイント、東菱電子株式会社、神野悦太郎、熱田神宮宮庁、株式会社 豊田自動織機、名古屋鉄道 株式会社、リンナイ 株式会社、株式会社 鈴木新聞舗、株式会社 アイシン
名古屋北(26/33) 小澤 努、服部 守孝
西尾(20/26) 株式会社 豊和
丹羽(57/66) 株式会社 柳風水野商店、名古屋実業 株式会社、有限会社 光洋企業、福玉精穀倉庫 株式会社、有限会社 浅野保温、和田佳活、キューホールディングス 株式会社、朱宮新治
半田(17/19) 株式会社 デザインセンターオワリヤ
碧南高浜(34/45) 伊藤正幸、クロダイト工業 株式会社

募集開始!

オイスカ中部 Village Club

異文化交流を通して各国の理解を深めることを目的としています。日本にいながらその国の料理を食し、国歌を歌い、言語を学びます。海外に興味がある方、旅行や出張予定のある方、英語でディスカッションをしたい方...

是非 毎月最終日曜日はオイスカ中部へ!

日時: 毎月第4日曜日 18:00~20:00
場所: 中部日本研修センター会議室
費用: 2,000円/月
言語: 英語/日本語
内容: 毎月のテーマ国に沿って

- ・テーマ国料理(夕食)
- ・国旗、国歌、歌、ダンスなど
- ・簡単な会話
- ・テーマ国について深掘りディスカッション

参加条件: 中学生以上

(1) 年間を通して2回以上参加できる

(2) テーマ国に興味があり、

事前に概要を調べて、一つの疑問点をもって参加できる

申込期限: 開催月の10日まで

申込方法: メール munakata@oisca.org [宗像]

お名前、電話番号

4月テーマ国
「フィリピン」

寄付品

鈴木康予(豊田市)、伊藤治男(岡崎市)、豊田エイトツ(豊田市)、株式会社 山信商店(豊田市)、光岡保之(豊田市)、中山純二(豊田市)、小池牧場(豊田市)、牧野内隆夫(豊田市)、スー・セツテ(豊田市)、シマツ 株式会社(刈谷市)、遊都 株式会社(豊田市)、加藤みつ子(豊田市)、山二食堂(豊田市)、Salon de l'ile(豊田市)、トヨタファーム(豊田市)、内藤欣憲(豊橋市)、東洋金属 株式会社(扶桑町)

みよし(39/36) 河合利彦
センター(31/47) 萩原長治、森文典、吉村淳子、鈴木良子、三登建設株式会社、松岡篤彦、東海漬物 株式会社、サーラエナジー 株式会社、宗像ジュエ、久我まちな子
三重(22/23) 児玉洋子、種村佳知(十一月末まで掲載)

寄付金

10月22日、12月15日
筑田明生(豊田市)、明保澄雄(岡崎市)、東洋金属 株式会社(扶桑町)、シマツ 株式会社(刈谷市)、オイスカ豊田推進協議会(豊田市)、林重喜(岡崎市)、雲井純(津市)、関和仁通(豊田市)、福岡武宏(豊田市)、水本厚生(名古屋)、竹中造園土木 株式会社(碧南市)、服部俊美(豊田市)、梅村清春(豊田市)、黒田啓介(名古屋)、長田昭吾(安城市)、株式会社 ナカノ工業(半田市)、福田香緒里(豊田市)、水野宏幸(豊田市)、中村浩之(豊田市)、光岡保之(豊田市)、神野重行(名古屋)、オイスカ友の会(豊田市)、森藤左エ門(名古屋)、鍵山幸一郎(横浜市)

インクカートリッジ

光岡正和(豊田市)、大河内鋭造(豊田市)